



札幌東支部

小山 僚子

Ryoko Koyama

一説によると、子供は一日に300回以上笑うのに、大人は15回平均だそうです。笑う門には福来る、どんな状況でも、一緒に笑いあえる人がいれば、それは困難ではなくて楽しいことになるような気がします。

実際、仕事の面では、昨年までお世話になった事務所の元同僚はそういう相棒(?)でした。史上最悪の事件が度々勃発、でも「なんだこりゃ」「もうどうしょうね」と散々毒づきながらなぜか最後は二人で笑って、そしてなんとなっちゃうという…。Nさん、今までありがとう!!

そして、今事務所を間借りさせていただいている I 会計さん、女性税理士連盟でもご一緒させていただいています。いつも楽しい I 先生、反抗期の娘すら虜にする面白い職員の方々、いつも笑顔をありがとうございます!!

対する我が家、中一の娘はお気に入りのネタを完コピするほどお笑い大好き(その能力を学業に活かしてほしい)、マンガも大好き。流行についていけず、記憶力も若者にはすでに負ける母(今税理士試験を受けろと言われたら泣く)に、飽くことなく、新時代の文化を享受させようと奮闘してくれています。

最近親子ではまっているのが、『弱虫ペダル』という自転車競技のアニメ。厳しかった実家の父は、マンガの中で認めるものはたった2つ、手塚治虫とベルばら(作者が父の好みのタイプ?)でしたが、私は寛容な親です、というより、私自身がマンガ好き。主人公の健気さや、競技のドラマ、個性的なキャラ等々、でも一番は子供と笑って観られることかな。二人して奇妙な挿入歌を大合唱…。

この時間は、娘が独立したら思い出になってしまうけれど、今私は大人ながら一日100回は笑ってます、きっと。みーちゃん、ありがとう!!

そして、私が最期の時のネタも、実はもう決めてあるんです。皆様乞うご期待、さてお後がよろしいようで(笑)